

PRESS RELEASE

日本女子大学成瀬記念館が4月10日（金）より 企画展「日本女子大学の授業 — 理学部 —」を開催 創立時から続く自然科学教育の歴史をたどる

学校法人日本女子大学（東京都文京区、理事長：今市涼子）の附属機関である成瀬記念館では、4月10日（金）より企画展「日本女子大学の授業 — 理学部 —」を開催します。

1901（明治34）年、日本女子大学校は家政学部、国文学部、英文学部の3学部で発足しましたが、当初から自然科学教育に重きを置いた教育学部の創設が検討され、開校から5年後に教育学部が誕生しました。しかし当時、女子の自然科学教育は時期尚早であったようで、教育学部は家政学部に統合され、自然科学の科目は基礎科目として受け継がれていきました。

その後、1948（昭和23）年の新制大学の発足に伴い、家政学部に家政理学科を設置。さらに理学部新設を望む声を受け、1992（平成4）年には数物科学科と物質生物科学科をもつ理学部を開設しました。2022（令和4）年には、数物情報科学科と化学生命科学科へと学科名称を変更し、現在に至るまで多くの卒業生を送り出しています。

本展では、125年にわたる本学の自然科学教育の歩みと、創立期の授業を紹介するとともに、近年寄贈された資料の一部を展示します。本学にお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。



壁に掛けられた2点の大きな掛図が目を引く
メインの展示スペース



1906（明治39）年から82年間にわたって
学生たちに使い継がれた顕微鏡

PRESS RELEASE

■開催期間

前期 2026年4月10日（金）～5月2日（土）

後期 2026年6月2日（火）～7月30日（木）

■開館日・時間

開館日：火曜日～土曜日

開館時間：平日 10：00～16：30、土曜日 10：00～12：00

※どなたでも入館可能です。

※開館日および開館時間は、変更になる場合がございます。

■主な展示

- ・掛図（理科教育教材）
- ・鈴木ひでのるの化学標本
- ・1910（明治43）年卒業証書
- ・応用動物学ノート
- ・分光計

■同時公開 2025年度収蔵資料

2015（平成27）年に成瀬記念館において「シリーズ“創る”（7）関口裕子染色作品展」を開催した染色家関口裕子氏より、新たに2点の作品をご寄贈いただきました。1999年制作の「春を待つ」は、右上に描かれた春の訪れを告げるフキノトウが印象深い作品です。2010年制作の「祈り」は、関口氏の代表的な染色技法“いも版”を使い、シチリア島で見たモザイク画を思い出し、表現された作品です。

今回は、上記の2作品のほかに、すでにご寄贈いただいている作品も展示します。

■成瀬記念館について

成瀬記念館は、本学の創立80周年記念事業の一環として、1984（昭和59）年に開館。目白キャンパスの正門を入れて左手に建つロマネスク調赤煉瓦風の建物です。本学の創立者である成瀬仁蔵の関係資料の他、学園に関する資料、女子教育史に関する資料を収集・保存・研究・公開する大学博物館です。創立者の教学の理念と学園の歴史を明らかにし、広く女子教育の進展に寄与することを願って設立されました。

PRESS RELEASE

【参照リンク】

成瀬記念館 ホームページ

https://www.jwu.ac.jp/unv/about/institutes/naruse_memorial/index.html

日本女子大学は、日本初の組織的な女子高等教育機関として創立し、2021年に120周年を迎えました。私立女子大学唯一の理学部を有し、文理融合の教育環境をもつ女子総合大学です。幼稚園から大学院までの一貫教育、さらに卒業生以外にも門戸を開くリカレント教育など、誰もが生涯を通じて学び、成長し続ける社会を創るための機会を提供しています。多様で非連続に変化する社会において、新しい明日を共に創る人材を育てています。詳しくは、<https://corp.jwu.ac.jp/>をご覧ください。



学校法人 | 日本女子大学 法人企画部 広報課

〒112-8681 東京都文京区目白台 2-8-1 <https://www.jwu.ac.jp/>

Phone. 03-5981-3163 e-mail. n-pr@atlas.jwu.ac.jp

Facebook. [@Official.JWU](#) Instagram. [@japan_womens_university](#) X. [@JWU_official](#)